

様式 2

令和 3 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2021 年 6 月 9 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 佐藤 佐敏

学会参加者名 田川 朗子

参加学会名	全国大学国語教育学会 第 140 回春季大会(於:オンライン)
実施期間	2021 年 5 月 29 日 ~ 5 月 30 日
成果の概要	<p>5 月 30 日の自由研究発表において、「文学教材における手紙を書く学習活動(3) - 「かさこじぞう」の実践を通して - 」という題目で発表を行った。</p> <p>文学を「読む」学習においては、「話す・聞く」「書く」といった学習活動が取り入れられながら授業が展開される。その文学の読みの授業で行われる「書く」活動の一つに、手紙を書くという学習活動がある。発表者はこの学習活動に着目し、文学の授業で手紙を書く活動を取り入れることによって学習者のテキストとの対話を促し、読みを深める手立てとなると考え、研究に取り組んでいる。</p> <p>本発表では、手紙を書く活動を位置づけた授業実践における成果と課題について発表した。2021 年 1 月に宮城県公立小学校協力のもと、手紙を書く活動を位置づけた『かさこじぞう』(小学 2 年)の実践を行い、学習者の手紙の記述データを収集した。そのデータを分析し、手紙を書く活動における学習者の思考の様相について考察した。</p> <p>オンラインで集まった全国の参加者に自身の研究の成果を報告するとともに、多くの質問や意見を頂くことができた。</p>